

24. 左後斜位心プールゲート法による左室駆出率算出の試み……………若松 裕幸他…136
25. 高次位相解析による虚血性心疾患の心機能評価……………中田 智明他…137
26. 運動負荷 ^{201}Tl ECT による虚血性心疾患の診断
——CAG 所見との対比を中心に——……………井上 恵他…137
27. 後壁および下壁梗塞例の位相解析像……………大内 敦他…137
28. 心拍同期心プール断層法における位相解析
——各種ファントムを用いた基礎的検討——……………津田 隆俊他…138
29. TI ECT および RI 心プール ECT による心筋梗塞の部位診断能
——ECG および LVG 所見との対比——……………田中 繁道他…138
30. RI 心プール ECT の位相解析による心刺激伝導異常例の検討……………中田 智明他…138

一 般 演 題

1. パーソナルコンピューターによる In vivo 検査情報管理について

荒井 博史 表 英彦 高橋 典子
 勝浦 秀則 鈴木幸太郎 (北大・放部)
 斉藤 博哉 辻 比呂志 (同・放)
 中駄 邦博 藤森 研司 伊藤 和夫
 古舘 正従 (同・核)

従来当施設ではシンチパック 1200 および大型電算機による検査データの管理を行ってきたが、使用時間および処理に制約があった。今回、われわれはパーソナルコンピューター PC-9800 シリーズを用いて日常検査のデータ登録、検索等を行うプログラムを開発し、検討した。

入力シート群は 3 種類で、患者情報データ 4 項目を検査前に、検査および臨床データ 52 項目をデータシートを介して検査後に入力する。以後の処理は、マスターファイルより月別のファイルを作り、さらに数種のファイルを作成し、多種の出力、統計処理、検索等を行った。

このシステムにより、メモリー容量に制限があるパーソナルコンピュータでもファイルを多用することにより、日常の検査におけるデータの参照、検索等に随時利用できる became、データの有用性が増した。今後、RI 管理、予約業務等にも現在のデータを活用できるように改良したい。

2. パーソナルコンピューター PC-9800 によるインビトロデータ登録システムの開発

高橋 典子 荒井 博史 表 英彦
 勝浦 秀則 鈴木幸太郎 (北大・放部)
 古舘 正従 (同・核)

当施設では、業務の省力化を目的としてデータ登録システムを開発した。

このシステムは、PC-9800 システムとオートウエルシステムから成る。PC-9800 システムのマスターファイルに患者情報、検査依頼情報を登録後インターフェイスを介して CX-1 から測定結果を転送する。マスターファイル登録と同時に結果報告書の作成、QC データ登録、X-R 管理図の作成表示等を自動的に行う。このマスターファイルを基にして各患者データの経時的变化、月別検査件数、キット間相関関係等の出力も可能である。

このシステム開発により事務業務の省力化、転記ミスの解消、データの検索および処理が正確かつ迅速になった。一方入力ミス、ディスクの記憶容量の限界、破損等の問題もある。

将来的には当院大型コンピューターとのオンライン化により、各種データのより有効な利用を考えている。

3. 最近の in vitro データ処理 (Spline 関数) について

西部 茂美 (旭川医大・放部)

RIA の検量線への回帰には多数の近似関数があり、線型、非線型を問わず、どの Assay 系にもすべて満足